平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名　株式会社サイネックス　　上場取引所　大
コード番号　2376　URL　http://www.scinex.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 村田吉優
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員業務本部長　(氏名) 浜口護也　TEL 06-6766-3333

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,014	6.6	294	25.3	299	25.0	223	52.8
24年3月期第2四半期	4,705	14.3	235	△7.4	239	△10.4	146	10.9

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　222百万円　(53.3%)　24年3月期第2四半期　145百万円　(12.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	40.41	38.55
24年3月期第2四半期	26.44	25.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,702	4,043	52.5
24年3月期	7,442	3,848	51.7

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　4,043百万円　24年3月期　3,848百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	5.00	5.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	4.5	630	10.9	660	8.4	320	7.1	57.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	6,470,660 株	24年3月期	6,470,660 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	939,578 株	24年3月期	939,578 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	5,531,082 株	24年3月期2Q	5,531,082 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。ご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の債務危機問題や新興国経済の成長鈍化による海外経済の減速、長期化する円高等により輸出は落ち込み、さらに、東日本大震災による原子力災害の影響や、全国的な電力の供給懸念もあり、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境において、当社グループは、官民協働の精神に基づき、“新しい公共”（注）を担う「社会貢献型企業」を目指して、地域行政情報誌『わが街事典』を発行し、官民協働で地域再生支援に取り組むとともに、中小事業者のプロモーションやソリューションを支援するサービスを提供いたしました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高が対前年同期比6.6%増の50億14百万円、営業利益が対前年同期比25.3%増の２億94百万円、経常利益が対前年同期比25.0%増の２億99百万円、四半期純利益が対前年同期比52.8%増の２億23百万円となりました。

（注）新しい公共
一般的に「新しい公共」とは、官だけではなく、ボランティアやＮＰＯ、民間企業が公共的な財・サービスの提供主体となり、共助の精神で活動することを指します。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①メディア事業

当社および連結子会社株式会社サイネックス・ネットワークにおけるメディア事業の売上高は、対前年同期比6.4%増の49億21百万円となりました。メディア事業を構成するプリントメディア事業とＩＴメディア事業の状況は次のとおりであります。

イ．プリントメディア事業

プリントメディア事業におきましては、地域行政情報誌『わが街事典』の発行地区拡大を官民協働で進め、千葉県船橋市や大分県大分市等で新たに発行するとともに、三重県津市や北海道室蘭市等で２版目を発行するなど、71の市や町と共同発行いたしました。50音別電話帳『テレパル５０』につきましては、行政情報や、新たに地域情報を付加した電話帳の発行に取り組みました。これらの結果、売上高は、対前年同期比11.2%増の35億85百万円となりました。

ロ．ＩＴメディア

ＩＴメディア事業におきましては、ヤフー株式会社との販売提携による『スポンサードサーチ®』等のリスティング広告、『Yahoo!ロコ』等のプロパティ系広告に積極的に取り組む一方、連結子会社である株式会社サイネックス・ネットワークの『トラベルサーチ』や『楽たび』、『トラベルヒルズ』等旅行商品の販売も前年同期並みの売上を確保したものの、ヤフー株式会社の一部提携商品が端境期にあったこともあり、売上高は、対前年同期比4.8%減の13億36百万円となりました。なお、平成24年10月より、地域特産品販売サイト『わが街とくさんネット』をオープンいたしました。

②その他の事業

その他の事業におきましては、連結子会社株式会社ＦＰエージェントにおける保険販売による手数料収入は、積極的な販売に努めた結果、対前年同期比19.2%増の92百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、77億２百万円となり、前連結会計年度末と比較して２億59百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金３億４百万円等の増加に対して、受取手形及び売掛金35百万円等の減少によるものであります。

なお、純資産は40億43万円となり、自己資本比率は、当第２四半期連結会計期間末において、0.8ポイント上昇し52.5%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は23億51百万円となり、前連結会計年度末と比較して２億37百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」については、営業活動の結果得られた資金は３億57百万円（対前年同期比6.4%増）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益３億37百万円等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」については、投資活動の結果使用した資金は50百万円（同84.1%減）となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出32百万円、有形固定資産の取得による支出15百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」については、財務活動の結果使用した資金は70百万円（同3.0%減）となりました。主な要因は、リース債務の返済による支出42百万円、配当金の支払額27百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の業績は、当初予想どおり推移しており、現時点において平成24年５月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,641,794	2,946,036
受取手形及び売掛金	474,722	439,179
有価証券	281,680	280,560
製品	161,390	150,991
仕掛品	124,287	114,375
原材料及び貯蔵品	10,550	16,367
その他	161,901	194,634
貸倒引当金	△43,332	△40,674
流動資産合計	3,812,995	4,101,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	463,377	447,156
機械装置及び運搬具（純額）	257,930	225,084
土地	698,136	697,494
リース資産（純額）	93,182	93,034
その他（純額）	42,049	36,081
有形固定資産合計	1,554,676	1,498,851
無形固定資産		
その他	222,480	219,982
無形固定資産合計	222,480	219,982
投資その他の資産		
投資有価証券	511,055	554,220
その他	1,350,718	1,337,202
貸倒引当金	△9,189	△9,189
投資その他の資産合計	1,852,584	1,882,232
固定資産合計	3,629,741	3,601,066
資産合計	7,442,737	7,702,537

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	233,582	202,108
短期借入金	350,000	350,000
未払法人税等	142,949	151,233
前受金	1,200,991	1,204,183
賞与引当金	138,373	217,728
その他	448,367	455,867
流動負債合計	2,514,263	2,581,121
固定負債		
退職給付引当金	964,416	968,181
役員退職慰労引当金	68,387	72,023
その他	46,998	37,282
固定負債合計	1,079,801	1,077,486
負債合計	3,594,065	3,658,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	552,095	552,095
利益剰余金	2,830,256	3,026,092
自己株式	△277,229	△277,229
株主資本合計	3,855,122	4,050,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,450	△7,029
その他の包括利益累計額合計	△6,450	△7,029
少数株主持分	－	－
純資産合計	3,848,672	4,043,929
負債純資産合計	7,442,737	7,702,537

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	4,705,145	5,014,857
売上原価	1,973,499	2,030,040
売上総利益	2,731,645	2,984,816
販売費及び一般管理費	2,496,403	2,690,090
営業利益	235,242	294,726
営業外収益		
受取利息	4,242	3,349
受取家賃	14,743	13,789
補助金収入	4,592	634
その他	15,985	7,843
営業外収益合計	39,564	25,617
営業外費用		
支払利息	2,794	2,688
複合金融商品評価損	14,150	2,060
為替差損	15,611	13,729
その他	2,372	2,024
営業外費用合計	34,928	20,502
経常利益	239,878	299,841
特別利益		
固定資産売却益	24	－
投資有価証券売却益	－	12,960
受取補償金	－	28,427
災害損失引当金戻入額	7,342	－
確定拠出年金移行差益	13,651	－
その他	39	－
特別利益合計	21,058	41,387
特別損失		
固定資産除却損	1,172	171
減損損失	－	3,561
投資有価証券評価損	9,165	－
投資有価証券償還損	2,367	－
その他	1,995	－
特別損失合計	14,699	3,732
税金等調整前四半期純利益	246,237	337,496
法人税、住民税及び事業税	97,338	142,910
法人税等調整額	2,636	△28,905
法人税等合計	99,975	114,005
少数株主損益調整前四半期純利益	146,262	223,491
四半期純利益	146,262	223,491

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	146,262	223,491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△879	△579
その他の包括利益合計	△879	△579
四半期包括利益	145,383	222,912
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,383	222,912

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	246,237	337,496
減価償却費	132,000	123,071
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△8,480	△2,657
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△73,569	3,764
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	3,552	3,636
賞与引当金の増減額（△は減少）	4,294	79,355
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△9,073	－
受取利息及び受取配当金	△5,270	△4,322
支払利息	2,794	2,688
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△12,960
投資有価証券評価損益（△は益）	9,165	－
受取補償金	－	△28,427
売上債権の増減額（△は増加）	△42,716	35,542
たな卸資産の増減額（△は増加）	△23,948	14,494
仕入債務の増減額（△は減少）	△30,337	△31,473
前受金の増減額（△は減少）	160,167	3,192
その他	44,970	△63,247
小計	409,787	460,153
利息及び配当金の受取額	6,641	6,835
補償金の受取額	－	28,427
利息の支払額	△2,786	△2,686
法人税等の支払額	△77,362	△134,819
営業活動によるキャッシュ・フロー	336,279	357,909
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△298,000	△308,000
定期預金の払戻による収入	241,000	241,000
有形固定資産の取得による支出	△60,370	△15,388
有形固定資産の売却による収入	13,074	－
無形固定資産の取得による支出	△67,297	△32,605
投資有価証券の取得による支出	△307,850	－
投資有価証券の売却による収入	－	65,380
投資有価証券の償還による収入	200,000	－
保険積立金の積立による支出	△42,026	△2,098
その他	2,770	1,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△318,699	△50,594
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△27,589	△27,661
リース債務の返済による支出	△44,671	△42,410
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,261	△70,072
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△54,680	237,242
現金及び現金同等物の期首残高	1,565,913	2,113,794
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,511,233	2,351,036

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。